せたみなみ

家庭学習ガイド

大津市立瀬田南小学校

はじめに

瀬田南小学校の子どもたちは、明るく元気です。素直な姿にとても好感が持てます。
学校では、『やさしく、かしこく、たくましく　力一杯生き抜く児童の育成』を教育目標にかかげ、心豊かでよく学び、逞しく生きる子どもを育てるべく日々取り組んでいます。

中でも、【学力】に関わる取り組みは、学習指導要領に記されている内容とともに、小学6年生と中学3年生を対象に実施されている全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、各校で学力向上の具体的な方策が実践されています。
本校では、次の3点を重点事項として掲げ、それぞれに進めています。

① **学習習慣の確立**
「時間を守る」・「学習用具の準備をきちんとする」・「学習ルールを守る」を、どのクラスでも提唱しています。

② **基礎・基本の定着**
朝の学びタイムとして10分間の【読書活動】を毎日行っています。
昼のモジュール学習として15分間の【きぼしんタイム（水曜除く）】を毎日行っています。
月木は算数、火金は、国語、１，２年外国語活動をし、基礎基本の定着を図っています。

③ **思考力・表現力の育成**
【学びあい】の取り組みをしています。
例：ペアや小グループで友だちと関わり、対話的な学習を進めています。

このように、学力をしっかりと身につけるには、学年の発達段階に応じ継続的に根気よく『学び方の学習』をすることではないかと考えます。
また、学校と家庭が連携することで、家庭での良い学習習慣が身につき、より学習内容が定着し学力の向上につながると考えます。
しかし、家庭で子どもにどのような学習をさせるのがよいのか、どのように声をかけるとよいのか、どのようにアドバイスすればよいのか・・などと悩んでおられる保護者もおられるかと思います。

つきましては、本校の『家庭学習ガイド』を作成しましたので、お子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。

《家庭学習の意義》

家庭学習はなぜ必要なのでしょうか。それは、家庭学習には次のような教育効果が期待できるからです。

① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校だけの学習ではすぐに忘れてなかなか習熟ができません。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

② 脳の活性化

脳も手足の筋肉と同じように、鍛えれば鍛えるほど発達します。つまり、読み・書き・計算などの反復練習を続けることにより脳の活性化につながります。

③ 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣と学ぶ楽しさや喜びを身につけるようになります。また、毎日続けることにより勉強することが当たり前の習慣になりますので、低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④ 見通しをもって行動する

しなければいけないことがいくつかある時、人は優先順位を考えます。子どもたちはテレビやゲームが大好きです。しなければいけないことがある中で、誘惑に打ち勝つことにより我慢強さ、根気、集中力などが芽生え、段取りをつける力を養うことができるのではないでしょうか。それは、少しずつ自分で自分をコントロールして時間を生み出していく力にもつながります。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。

⑤ 家族のふれあい

家庭学習をしている子どもに親が関わることは、とても大切です。例えば、子どもが音読練習をしている時はそばで聞いてあげる。勉強が分からない時に教えてあげたり、一緒に調べてあげたりすることなどが、家族のふれあい（コミュニケーション）を生み出すからです。

家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

《家庭学習にかかわる保護者へのお願い》

1. 毎日させましょう

学校では、各学年に応じた宿題を出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切なのです。学校からの宿題の量に関わらず、自主的に教科書やドリルの問題に取り組む習慣を子どもたちにつけさせることが大切です。

2. 短時間で集中してさせましょう

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。また、終える時刻を決め短時間で集中して勉強することが長続きのこつです。その時間内に終われる量を見極め調節していく手助けも必要となります。

“学年×10分～プラス10分”を目安にして（例：2年生の場合、20分～30分）集中して頑張ることを心がけて下さい。

3. テレビを消しましょう

おやつを食べながら、テレビを見ながらの「ながら勉強」は禁物です。テレビの音が聞こえるような環境では子どもは集中できません。静かに学習できる環境をつくってあげてください。

4. 整理・整頓した環境を作りましょう

マンガやゲームなど気が散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。逆に、整理・整頓された部屋や机は、落ち着き集中できるものです。静かに学習できる環境をつくってあげることも大切な援助の1つです。

5. 子どものがんばりを認め、ほめて励ましましょう

子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まったり、自己肯定感につながったりします。親が口うるさく強制したり、間違いをきつくとがめたりすることは逆効果につながることが多いようです。前回よりも良くなった点を探し出し、褒めて終わるようにしてください。

6. 規則正しい生活をさせましょう

家庭学習を毎日決まった時間に行うためには、家庭での生活リズムを整えることが大切です。『早寝、早起き、朝ごはん』は、生活リズムの大原則です。また、夜遅くまで勉強して睡眠時間が少ない子どもよりも、7時間以上睡眠時間を確保している子どもの方が成績が良い傾向にあるというデータもあるそうです。

学校でも家庭でも生き生き元気に学習に取り組むために、規則正しい生活をさせ、学力アップへの土台をつくりましょう。

《発達段階に合わせたかかわり方の工夫》

1，2年生とは

○　何でも知りたがっています。
○　がんばったこと、よいところをいっぱいほめてほしいと思っています。
○　一人で学習することや、やり方を自分で決めることはまだ難しいです。

そこで、**「いっしょにして、やる気をおこす」**

①　一緒に、学習内容ややり方を決めましょう。
②　できたことをほめることで、やる気・意欲を高めましょう。

3，4年生とは

○　いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
○　好きなことに熱中するようになります。
○　自分でやろうとすることが増えてきますが、手助けが必要なこともたくさんあります。

そこで、**「認めて、ほめて、自信をつける」**

①　家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。
②　手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

5，6年生とは

○　自分でできると思っているので、言葉かけに配慮が必要です。
○　得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
○　体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。

そこで、**「見守って、伸ばす」**

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守っていきましょう。

《家庭でできる学習例》

1. 教科書やドリルなどの予習や復習

学校で使用しているものをくり返し使って復習したり、事前に予習したりします。

2. E ライブラリ

大津市では、学校における授業での活用や家庭学習充実のため、オンライン学習教材「e ライブラリ」を、導入しました。家庭学習においてもオンライン学習教材の活用ができるようになりましたので、ぜひご活用ください。

1. 「e ライブラリアドバンス」の特徴について　　ログインはこちら→

・ご自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンを利用して学習できます。
・教科書に対応した、学習ができます。
・単元ごとのドリル学習や確認テストができます。
・予習や復習に活用できます。
・楽しく学べるクイズなどもあります。
※通信にかかる費用は、各ご家庭での負担となりますのでご了承ください。

2. 利用方法について ※詳細は「家庭学習つかいかたガイド」をご覧ください。→
http://www.otsu.ed.jp/setm/cgi-bin/link/topics/img/18-2.pdf

①各ご家庭に、利用に必要な「学校コード」・「ログイン ID 」・「パスワード」を学校からお知らせしています。再発行は致しませんので、紛失された場合は、担任までお知らせください。
大津市内の小・中学校に通学する児童・生徒のみが利用することができます。
②右記のアドレスにアクセスし ます。 https://ela.kodomo.ne.jp/students
※インターネットで「e ライブラリ家庭学習」と検索すると、古いバージョンが表示されログインできません。ご注意ください。
③学校コード・ログイン ID・パスワードを入力すると、学習案内の画面が開きます。
※表示される児童生徒名は、すべて平仮名で登録されています。
④ご家庭での利用が困難な場合は、学校へご相談ください。

使い始めは、できればお子様と一緒に進めていただき、子どもたちが自分で学習できるように見てあげてください。そうすると、自分の課題に合わせて学習する習慣がついてきます。

3. 家庭の手伝い

家族の一員として、家庭の手伝いをすることも子どもの力を伸ばす大切な取り組みです。無理な仕事をさせるのではなく、家庭でのコミュニケーションの一つと考え、はじめは一緒に取り組んでいくことが大切です。

4. 読書

本校では、朝の 10 分間読書に取り組んでいます。ご家庭でも学年の発達段階に応じた本を一緒に選んでいただいたり、一緒に読書をしていただいたりすることで、児童の想像力や学力等にも繋がります。また、コミュニケーションの時間にもなり、おすすめです。
https://www.nionet.jp/dokusho/index.html （本の紹介コーナーが参考になります。）